大阪科学・大学記者クラブ 御中

(同時資料提供先:大阪市政記者クラブ)

2015年2月3日

公立大学法人大阪市立大学 広報室

Email: t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp

第2回 地域連携発表会 〜地域と大学のさらなる連携を目指して〜を開催します

大阪市立大学地域連携センターは、平成27年3月4日(水)に学術情報総合センター1階文化交流室にて「第2回地域連携発表会〜地域と大学のさらなる連携を目指して〜」を開催します。

この発表会は、今年で2周年を迎えた当センターと、本学教員及び学生が地域と連携して行った取り組みを広く学内外に紹介し、地域と大学が連携していくためのノウハウを共有することを目的としています。また、大阪府内の



昨年の発表会の様子

行政機関と大学のさらなる連携の可能性について議論を深め、今後の課題を模索するとともに、 さらなる地域の活性化・発展に貢献していきたいと考えています。地域連携に関心のある方は もちろんのこと、プロジェクト運営などに興味のある方のご参加もお待ちしています。

記

- 1 開催日時 平成 27 年 3 月 4 日 (水) 13 時 00 分~16 時 30 分 (開場:12 時 30 分)
- 2 場 所 大阪市立大学 杉本キャンパス 学術情報総合センター1 階 文化交流室 (大阪市住吉区杉本 3-3-138)

JR阪和線「杉本町(大阪市立大学前)駅」下車、東へ徒歩5分・ 地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口より南西へ徒歩約20分

- 3 プログラム
 - ・ 開会あいさつ 加藤 司 (地域連携センター副所長・経営学研究科教授)
 - 趣旨説明
 - 連携事例の発表

テーマ	事例	発表者
まちづくり	リノベ@大正区―地域の魅力を活かし	西野 雄一郎
	たリノベーションプラン—	(工学研究科 後期博士課程)
文化・歴史	生きた建築ミュージアム―建築の新たな	嘉名 光市
	価値を創造、提示する実証実験的な活動―	(工学研究科 准教授)
商業活性化	商店街・各機関との包括提携による北区	小長谷 一之
	活性化のプロジェクトについて	(創造都市研究科 教授)

防災まちづくり	演劇活動による地域共同体の創発-スミョ	福島祥行
	シ・アクト・カンパニーの事例から—	(文学研究科 教授)
防災学習	小学校における地震災害リスクの学習	^{みたむら むねき} 三田村 宗樹
	に向けた取り組み	(理学研究科 教授)

- ・ テーマ別座談会(連携事例発表者の講師を囲んでの質疑応答)
- 閉会あいさつ 宮野 道雄(副学長・地域連携センター所長)
- ※ 学生によるポスター発表を連携事例発表の前後や休憩時間に行います。

学生によるポスター発表内容

【発表タイトル】

- ・泉大津市立旭小学校外構ワークショップ
- ・市民参加型タンポポ調査と雑種タンポポの生態研究
- ・大和川の自然再生に向けたネットワークづくり
- ・大阪南港野鳥園の保全に向けた取り組み・研究
- ・阪南2区人工干潟を対象とした干潟再生に向けた 様々な機関の研究
- ・若者の感性を活かした駒川商店街の活性化
- ・レンゲですみ博 宝探しマップ



昨年のポスター発表内容

- 4 対 象 自治体・関係機関職員、NPO・企業・民間団体関係者、大学教職員・学 生、地域連携に関心のある方ならどなたでも
- 5 定 員 80名(※申し込み多数の場合は先着順)
- 6 主 催 大阪市立大学 地域連携センター
- 7 申込方法 電子メール、電話、または FAX いずれかの方法で、お申込みください。 結果は順次通知します。
 - ※事前申し込み締め切りは3月2日(月)必着。
 - ※定員に達しなかった場合は3月2日(月)に HP で告知します。
- 8 申込み先 〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

大阪市立大学 地域連携センター

TEL: 06-6605-3504 / FAX: 06-6605-3505

電子メール: chiiki4c@ado.osaka-cu.ac.jp

【本件に関する問合せ先】

大阪市立大学 地域連携センター 担当:高崎、奥平

TEL: 06-6605-3504 FAX: 06-6605-3505 電子メール: chiiki4c@ado.osaka-cu.ac.jp

阪|市|立|大

~地域と大学のさらなる連携を目指して~

大阪市立大学地域連携センターは開設2周年を迎え、2回目となる地域連携発表会を開催します。 教員や学生が地域と連携して行った取り組みを広く学内外に紹介するだけでなく、地域と大学が連携 していくためのノウハウの共有も目的としており、大阪府内の行政と大学のさらなる連携の可能性につ いて議論を深めていきます。地域連携に関心のある皆さまのご参加をお待ちしております。

13:00~16:30(開場12:30)

Collaboration and

対象者

自治体・関係機関職員、NPO・企業・民間団体関係者、大学教職員・学生など 地域連携に関心のある方ならどなたでも



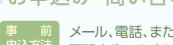
Community

Contribution Center

大阪市立大学 杉本キャンパス 学術情報総合センター1階 文化交流室



◎ お申込み・問い合わせ



メール、電話、またはFAXいずれかの方法で 下記宛先にお申し込みください。 当日参加も可能です。

for



地域連携センター 大阪市立大学

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

TEL: 06-6605-3504 FAX: 06-6605-3505 e-mail: chiiki4c@ado.osaka-cu.ac.jp

URL: https://www.connect.osaka-cu.ac.jp/4c/





PROGRAM



プログラム

開場(学生ポスター発表)

2 開会あいさつ・趣旨説明







3 連携事例の発表(発表時間15分+質疑応答5分)

テーマ1) まちづくり

事例:リノベ@大正区

や商店街の店主と連携をしながら、空家の実態報告や地域の魅力を活かしたリノベーションプランについて報告します。

ガー 横山 俊祐 教授・徳尾野 徹 准教授・院生・学生(工学研究科

● 発表者: 西野 雄一郎 (D2) ● 地域連携先: 大正区役所、平尾リノベーション実行委員会 建築計画研究室では、空き店舗が目立つ平尾商店街とその周辺の地域を活性化させる事業に取り組んでいます。大阪市大正区

テーマ2)文化・歴史

事例:生きた建築ミュージアム

嘉名 光市 准教授・倉方 俊輔 准教授(工学研究科)、高岡 伸一 特任講師(都市研究プラザ

● 発表者:嘉名 光市 准教授 ● 地域連携先:大阪市都市整備局

"生きた建築"とは、歴史・文化、市民の暮らしぶりといった都市の営みの証です。建築の新たな価値を創造、提示し、 実証実験的な活動を展開するとともに、建築の社会との新たなコミュニケーションのあり方を模索する活動を行っています。

テーマ3) 商業活性化

事例: 商店街·各機関との包括提携による北区活性化のプロジェクトについて 牛場 智(客員研究員)・小長谷 一之 教授(創造都市研究科)

● 発表者:小長谷 一之 教授 ● 地域連携先:大阪市北区商業活性化協会

創造都市研究科は大阪市北区の商業活性化協会と「包括提携協定」を締結しました。地元の商店街などと協働し、協会の補助を受けながら、区商連・北区と協力して、活性化プロジェクトに取り組んでいます。

テーマ4) 防災まちづくり

事例:演劇活動による地域共同体の創発―スミヨシ・アクト・カンパニーの事例から-福島 祥行 教授・中川 眞 教授(文学研究科)

● 発表者:福島 祥行 教授● 地域連携先:住吉区役所、NPOスマイル協議会

住吉区の地域住民とともに劇団「スミヨシ・アクト・カンパニー」を立ち上げ、地域の防災意識の向上を目指した演劇活動の実践を行ってきました。地域共同体が創発されていく場としての演劇活動の取り組みについて報告します。

テーマ5)防災学習

事例・小学校における地震災害リスクの学習に向けた取り組み。 三田村 宇樹 教授(理学研究科)

● 発表者:三田村 宗樹 教授 ● 地域連携先:南住吉大空小学校、天下茶屋小学校

南住吉大空小学校は、「命を守る学習」に取り組んでおり、小学生と地域住民とが参加する授業を実施しています。 西成区では、小学生・地域住民が参加する防災講演会において、地震災害リスクに関わる地盤の特徴について話題提供を行ってきました。これらの事例について報告します。

4 テーマ別座談会

各講師を囲み、直接質問や意見交換ができますので、どうぞご参加ください。

5 閉会あいさつ

学生によるポスター発表

発表会の前後や休憩時間にも学生による地域連携事例の紹介を行います。 当日、優秀なポスターの発表者には表彰も行います。

発表タイトル

・泉大津市立旭小学校外構ワークショップ・市民参

・市民参加型タンポポ調査と雑種タンポポの生態研究

・大和川の自然再生に向けたネットワークづくり・大阪南港野鳥園の保全に向けた取り組み・研究

・阪南2区人工干潟を対象とした干潟再生に向けた様々な機関の研究

・若者の感性を活かした駒川商店街の活性化 ・レングですみ博 宝探しマップ

○主催

大阪市立大学地域連携センター



